







基本的なコール処理

基本的なコール処理は、さまざまな機能とサービスを使用して行うことができます。機能の Availability は異なることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。






コールの発信：基本オプション


Cisco Unified Wireless IP Phone には、次のように、簡単に電話をかける方法がいくつか用意されています。

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
電話をかける	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号のダイヤル 2. 発信するには  (緑色のキー) を押します。  (注) <u>ダイヤルトーンはありません。</u> 	P.15 の「電話機の概要」
リダイヤルする	▶ を押して [リダイヤル] を表示してから、[リダイヤル] を押して電話をかけます。	
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ホリユウ] を押します。 2. ◀ を押すか、▶ を押して [ハッシン] を表示します。 3. 番号をダイヤル、リダイヤル、または短縮ダイヤルします。 	P.27 の「コールの保留と復帰」
通話履歴ログからのダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [デンワリレキ] > [フザイリレキ]、[チャクシンリレキ]、または [ハッシンリレキ] を選択します。 2. ▼ を押してリストを選択します。 3.  を押して電話をかけます。 	P.63 の「履歴の使用」
発信履歴のリストにある番号のリダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押してリストを表示します。 2. 目的の番号までスクロールし、 を押して電話をかけます。  (注) <u>発信履歴のリストには、10 レコードが保存されます。</u> 	P.63 の「履歴の使用」


コールの発信：追加のオプション

電話機に特別な機能やサービスが用意されていれば、それらを使用してコールを発信することができます。このような追加のオプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(別の回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ホリユウ] を押します。 2. 電話番号を入力します。 3. ▼を押して別の回線に変更します。 4.  を押して電話をかけます。 	P.27 の「コールの保留と復帰」
セカンダリ回線での発信	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号を入力します。 2. ▼を押して別の回線に変更します。 3.  を押して電話をかけます。 	P.49 の「短縮ダイヤル」
ローカルの電話帳にある番号のダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1. [デンワチョウ] を押します。 2. 目的のエントリまでスクロールします。 3.  を押して番号をダイヤルします。 	P.46 の「電話帳の使用方法」
短縮ダイヤル ホットキーによる電話番号の短縮ダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する短縮ダイヤル番号に対応する  (2～9のキー) を押し続けます。 2. 該当のホットキーに保存されている番号が表示されます。 3. ボタンを放すと、その番号がダイヤルされます。 	P.49 の「短縮ダイヤルホットキーの設定」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [ディレクトリ] > [シャナイディレクトリ] (名前は異なる場合があります) を選択します。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [ケンサク] を押します。 4. リストまでスクロールし、[ダイヤル] または  を選択します。 	P.64 の「電話機での社内ディレクトリの使用」
Cisco WebDialer を使用して、コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	P.78 の「Cisco WebDialer の使用」





目的	操作	参照先または問い合わせ先
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに [オリカエシ] を押します。 次に電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機に通知されます。 もう一度コールを発信します。 	システム管理者
回線にコールを発信する前に、短縮ダイヤルに関連付けられた回線が使用中かどうかを確認する	ビジー ランプ フィールド インジケータを確認します。	P.44 の「短縮ダイヤル BLF の使用による回線状態の確認」
プライオリティ (Precedence) コールを発信する	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.42 の「重要なコールの優先順位付け」
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> [メニュー] > [サービス] > PAB service を選択します。 リストを強調表示し、 を押します。 	P.71 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 電話番号をダイヤルします。 トーンが聞こえたら、ユーザ固有のコードである Client Matter Code (CMC) または認証に必要な Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> [メニュー] > [サービス] > EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。 ログイン情報を入力します。 	P.43 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」

ヒント

- ダイヤルを間違えた場合は、**[クリア]** を押して 1 つまたは複数の数字を消します。
- 最後の番号をリダイヤルするには、 を 2 回押すこともできます。


コールへの応答

コールに応答するには、単純にハンドセットを取り上げるか、電話機に他にオプションが用意されていれば、それらを使用します。

目的	操作	参照先または 問い合わせ先
コールに応答する	着信コールに接続するには、  (緑色のキー) を押して離します。	
着信コールの呼出音の無音化	呼出音を無音にするには、  (赤色のキー) を押します。 コールは無音のまま続き、その後、ボイスメッセージや別の電話機など、無応答の場合の宛先に転送されます。	
接続中のコールから呼び出し中のコールへの応答	Answer または  (緑色のキー) を押します。この操作を行うと、新しいコールに応答し、自動的に最初のコールを保留にできます。	P.27 の「コールの保留と復帰」
コール ウェイティングを使用して応答する	[アウトウ] を押します。	P.27 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムに直接コールを送信する	[ソクテンソウ] を押します。	P.68 の「ボイス メッセージへのアクセス」
着信コールを自動接続する	自動応答を使用します。	P.26 の「コールへの応答」
パークされたコールを別の電話で取得する	コール パークとダイレクト コール パークを使用します。	P.41 の「パークされているコールの保存と取得」
自分の電話機を使用して別の場所で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	P.36 の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答する」
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断し、 [アウトウ] を押します。	P.42 の「重要なコールの優先順位付け」
呼出音が 1 回または 2 回鳴った後の着信コールへの自動接続	自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。  を押さなくても、呼出音が 1 回または 2 回鳴った後で、コールは通話者に接続されます。	


コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。


目的	操作
コールの終了	[シユウリョウ] または  (赤色のキー) を選択して電話を切ります。
1 つのコールだけを切断し、同じ回線のもう一方のコールを維持する	[シユウリョウ] を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールは、保留したり復帰したりすることができます。

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。 2. [ホリユウ] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保留を解除するコールが強調表示されていることを確認します。 2. [フッキ] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ▼を押して別の回線に変更します。 2. [フッキ] を押します。 <p> (注) この回線で保留になっているコールが 1 つの場合、コールは自動的に復帰します。もう一方のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、[フッキ] を押します。</p>
無線電話機と卓上電話機間での共有回線のコールの切り替え	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブコールに接続している電話機から [ホリユウ] を押します。 2. 共有回線に接続している他の電話機で、[フッキ] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留を示すアイコン  によって示されます。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュート機能は、電話機またはイヤホンで使用できます。

目的	操作
ミュートをオンにする	通話中に [ミュートオン] を押します。ラベルが [ミュートオフ] に変わります。
ミュートをオフにする	[ミュートオフ] を押します。ラベルが [ミュートオン] に変わります。

複数のコールの切り替え

1本または複数の回線上で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーンで自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。




目的	操作
同じ回線上で接続されている複数のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。2. [フッキ] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。
異なる回線上で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. ▼を押して別の回線に変更します。2. この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。もう一方のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示して、[フッキ] を押します。
接続中のコールから呼び出し中のコールへの応答	[アウトウ] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、▼を押して他の回線に切り替え、[アウトウ] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。

ヒント

- 電話機は、6本の回線まで対応しますが、電話機の画面に表示されるのは4本の回線までです。他の回線を表示するには、▼を押す必要があります。
- 電話機は、回線あたり2つのコールまで対応できます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。


目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールから、▶を押して [テンソウ] を表示します。 2. [テンソウ] を押し、転送先の番号を入力します。 3. [テンソウ] をもう一度押して転送を完了するか、[シュウリョウ] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールから、▶を押して [テンソウ] を表示します。 2. [テンソウ] を押し、転送先の番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [テンソウ] をもう一度押して転送を完了するか、[シュウリョウ] を押して転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送）	<ol style="list-style-type: none"> 1. その回線上の任意のコールをスクロールして強調表示します。 2. [センタク] を押します。 3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールのいずれかを強調表示させた状態で、▶を押して [D テンソウ] を表示し、[D テンソウ] を押します。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [サンカ] を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	<p>▶を押して [ソクテンソウ] を表示させてから、これを押します。</p> <p>コールがボイス メッセージ グリーティングに自動転送されます。[ソクテンソウ] は、アクティブなコール、呼び出し中のコール、保留中のコールに使用できます。</p>

ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、または【テンソウ】を押してから切断することができます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、【テンソウ】を押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- 【テンソウ】を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。【フッキ】を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

すべてのコールの別の電話番号への転送

[フザイ] を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
プライマリ回線のコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> ▶を押して [フザイ] を表示します。 [フザイ] を押します。 転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> ▶を押して [フザイ] を表示します。 [フザイ] を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	ステータス行にあるコールの転送先電話番号、およびプライマリ回線の横にある  アイコンを見つけます。
任意の回線のコール転送の設定またはキャンセル	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします。P.70 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 [すべてのコールを別の番号に転送] を選択します。 プライマリ回線またはセカンダリ回線を選択します。



(注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代わりとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます（ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります）。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線の転送条件を変更することができます。

会議コールの使用方法

Cisco Unified Wireless IP Phone では、3 名以上を 1 台の電話機の会話に参加させ、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

標準の会議コールは、必要性や電話機で利用できるソフトキーに応じて、次のように複数の方法で作成できます。

- **[カイギ]** : このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[サンカ]** : このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールを結合して標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[C ワリコミ]** : このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ利用できます。

手順の詳細については、[P.33 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。



Meet-Me 会議コール


Meet-Me 会議コールは、指定された時刻に Meet-Me 電話番号に発信して作成します。

手順の詳細については、[P.35 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1つのコールに3名以上の参加者が1つのコールで会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> 参加者に発信して会議コールを作成する 複数の会議コールに新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続されたコールで、▶を押して [カイギ] を表示します。 2. [カイギ] を押します。 3. 参加者の電話番号を入力します。 4. コールが接続されるのを待ちます。 5. [カイギ] をもう一度押して、参加者をコールに追加します。 6. この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
複数の既存のコールを結合して、会議コールを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1本の回線に複数のコールがあることを確認します。 2. 会議コールに追加するコールを強調表示します。 3. [センタク] を押します。 選択されたコールがこのアイコン  を表示します。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールから、▶を押して [サンカ] を表示し、それを押します。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線でコールに割り込んで、会議コールを作成する	共有回線でコールを強調表示し、 [Cワリコミ] を押します（必要に応じて、▶を押して [Cワリコミ] を表示します）。 P.38の「共有回線の使用」 を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [サンカシャ] を押します（必要に応じて、▶を押して [サンカシャ] を表示します）。 <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [コウシン] を押します。




目的	操作
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [サクジョ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	[シュウリョウ] または  (赤色のキー) を選択します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから [カイギ] または [サンカ] を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルして、会議を開催または会議に参加します。

目的	操作
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 取得した番号を参加者に通知します。 3. ミーティングを開始する準備ができたなら、▶を押して [ミー トミー] を表示し、[ミー トミー] を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 5.  (緑色のキー) を押します。 <p>参加者は、ダイヤルインで会議に参加できます。</p> <p> (注) 開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします (この番号は会議の開催者から提供されます)。</p> <p> (注) 開催者がダイヤルインする前に、会議にコールした場合、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>